



# 東山通信 2月号

京都市立東山総合支援学校

令和5年2月3日

校長 多田 薫

令和5年の年が明けて、1ヶ月が経とうとしています。今年度の授業日を数えくみますと、1・2年生は修了式まで33日、東山総合支援学校を巣立つ3年生は卒業証書授与式まで残り24日です。後期後半は1年間のまとめの時期でもあり、卒業後の生活や次年度に向けての準備の期間でもあります。1年間の締めくくりとして1日1日を大切にして過ごしていきましょう。

## 【校内球技大会】

1月13日(金)に生徒会主催による校内球技大会を行いました。生徒会を中心に企画・運営を行い、今年度はソフトバレーボールを行いました。この校内球技大会を通して学年・クラスの連帯感を高め合いました。また、全校生徒の交流を図る上でよい機会となりました。



## 【プレ卒業茶会】

今年度の茶道体験学習は大詰めを迎えていました。1月25日(水)にプレ卒業茶会が行いました。卒業茶会本番は、2月8日(水)となります。来ていただくお客様へ、おもてなしの心を持って、それぞれが担った役割を果たします。



1月26日(木) 授業実践報告会を行いました。

昨今の状況を鑑みて、外部からの参観を縮小して、校内の教職員を中心にしての実施でした。

弘前大学大学院教育学研究科 菊地一文教授より「生徒一人一人の学びや育ちを捉えてつなぐ学習評価の視点を活かす」をテーマに講演・講評をいただきました。この報告会を通して得たことを今後の活動に役立てていきたいです。



「雑がみ」はリサイクルできます。古紙回収等へお出しください。  
ごみの減量に取り組んで、京都の美しいまちを守りましょう。



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で  
「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう!

